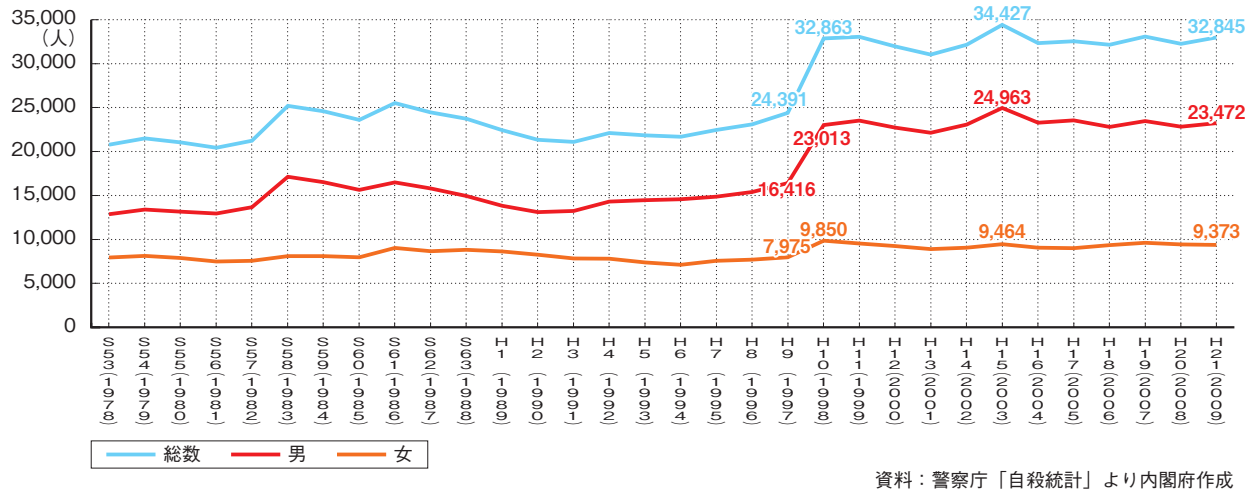
第１章

自殺の現状

1　自殺者数の推移

○平成９年から10年にかけて自殺者数が急増。以後、**12年連続で年間自殺者数が３万人を超えている**。平成21年の自殺者数は、総数３万2,845人、男性２万3,472人、女性9,373人となっている。

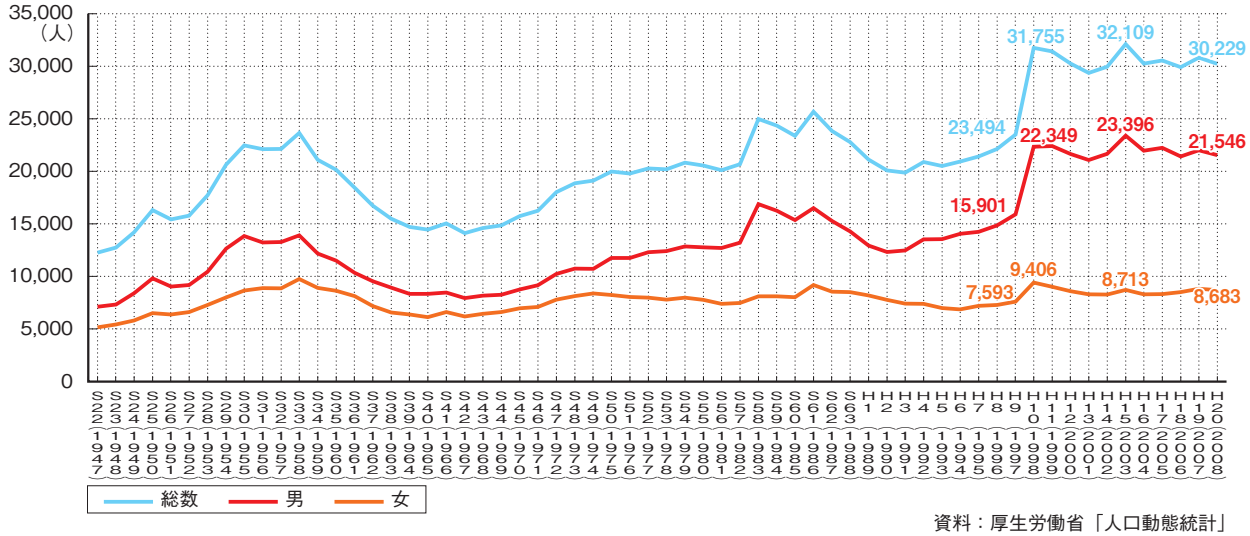
自殺者数の推移（自殺統計）



資料：警察庁「自殺統計」より内閣府作成

○長期的な推移をみると、厚生労働省の人口動態統計では、昭和30年前後、60年前後に二つの山を形成した後、平成10年に急増、以後連続して３万人前後で推移している。

自殺者数の長期的推移（人口動態統計）

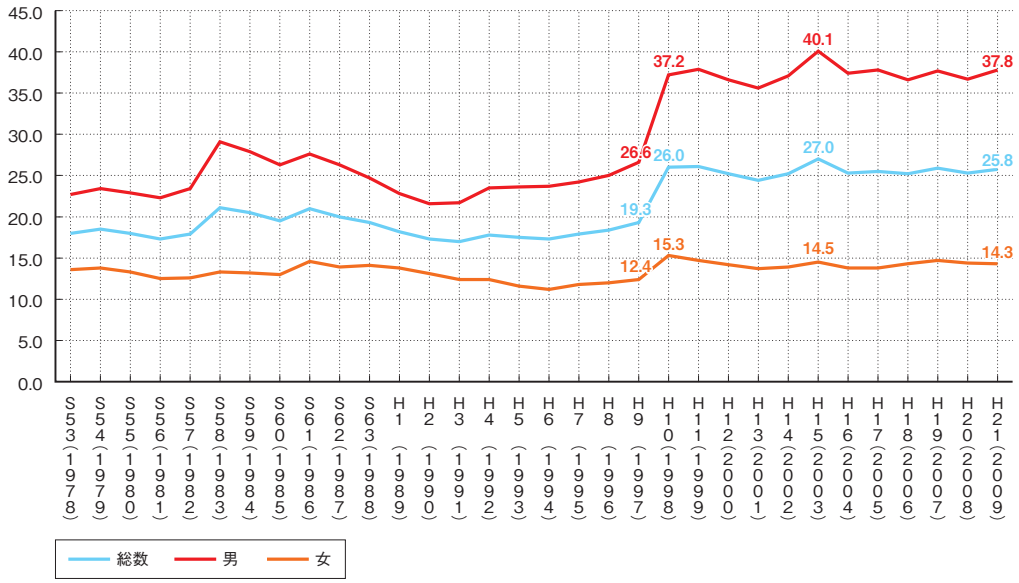


資料：厚生労働省「人口動態統計」

2　自殺死亡率の推移

○自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）も、自殺者数と同様の傾向であり、平成10年に急増し、平成21年は25.8と高い状態が継続している。

自殺死亡率の推移（自殺統計）

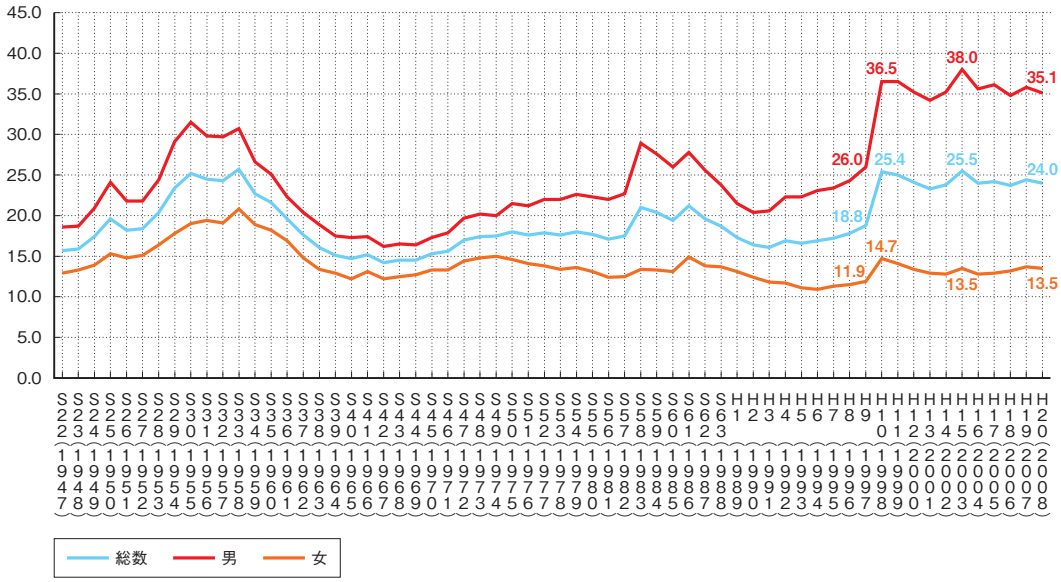


資料：警察庁「自殺統計」より内閣府作成

○長期的推移をみると、男性については総数と同様の傾向で推移し、現在、戦後、最も高い水準となっている。

○女性は、男性に比べ、一貫して低い水準で推移し、昭和40年代以後は、大きな変動はない。

自殺死亡率の長期的推移（人口動態統計）

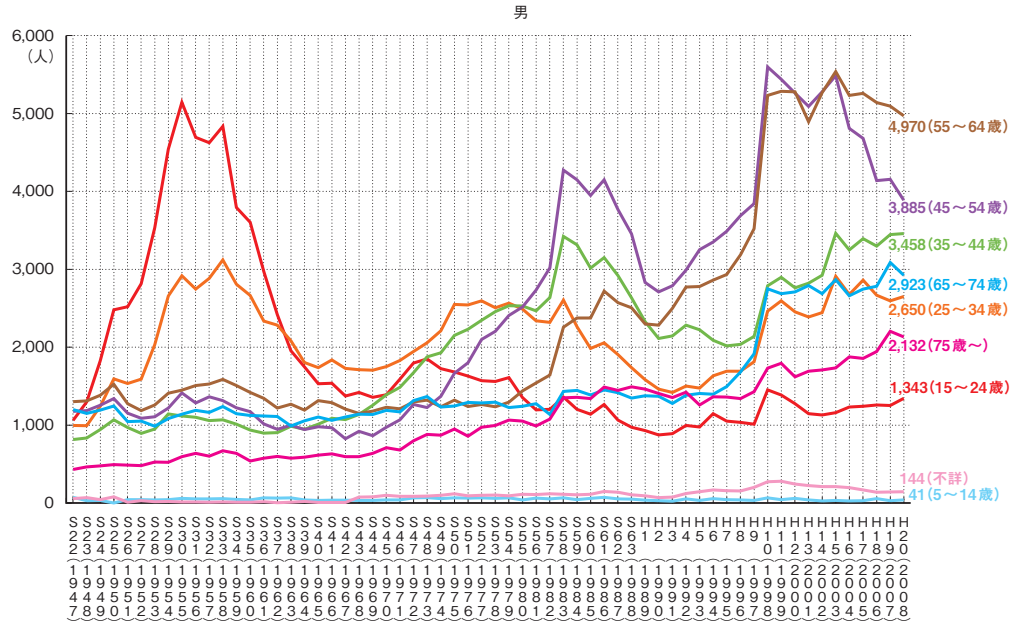


資料：厚生労働省「人口動態統計」

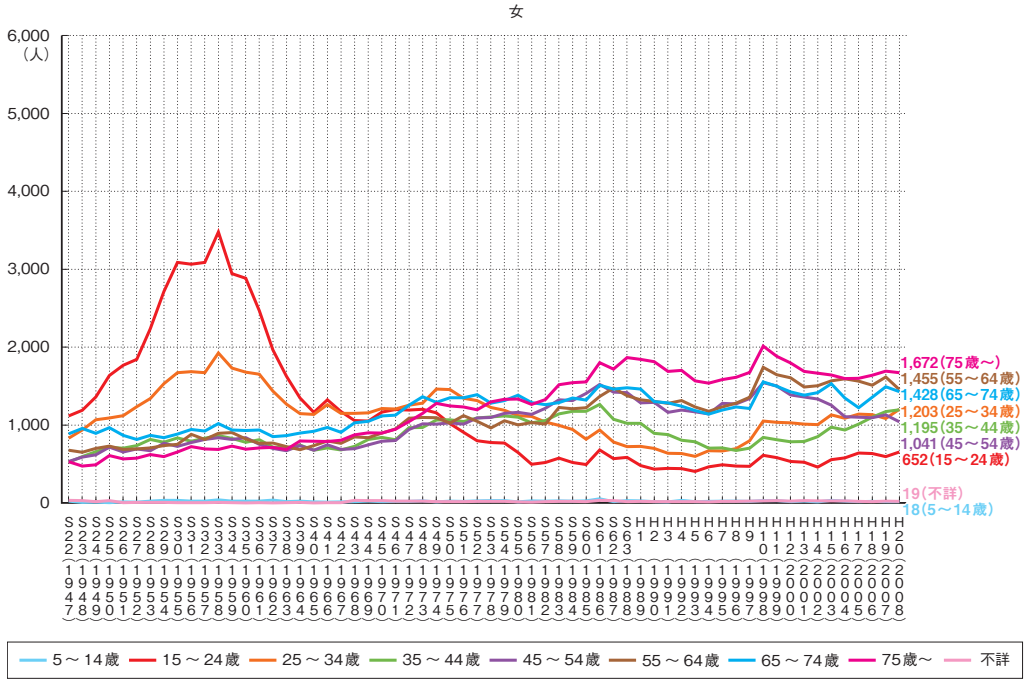
3　年齢階級別の自殺の状況

○年齢階級別の自殺の状況をみると、男性については、昭和30年前後に15歳～34歳の階級、60年前後に35歳～54歳の階級、**平成10年以降に45歳～64歳の階級がそれぞれ山を形成している。**

年齢階級別（10歳階級）の自殺者数の長期的推移



○女性については、昭和30年前後に15歳～34歳の階級が山を形成した後は、**男性のような大きな変動はみられない。**

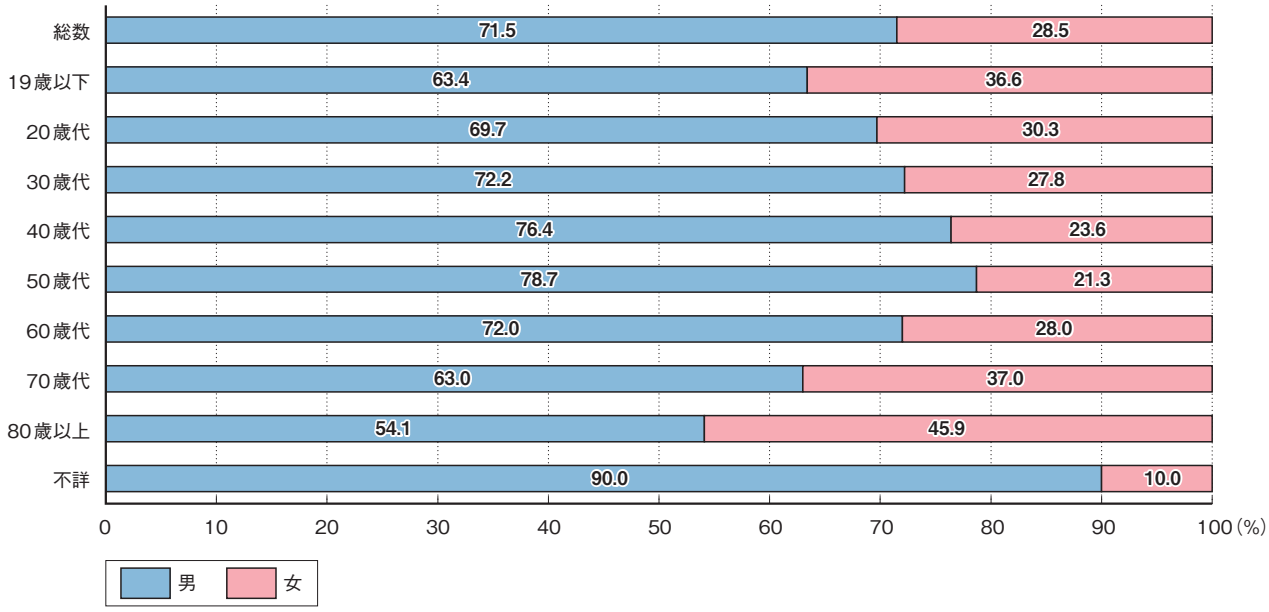


資料：厚生労働省「人口動態統計」

4　男女別の自殺の状況

○平成21年における男女別の年齢階級別の自殺者数についてみると、自殺統計によれば、**すべての階級において男性の占める割合が高い**。特に、30歳代～60歳代までは男性が7割を超えている。

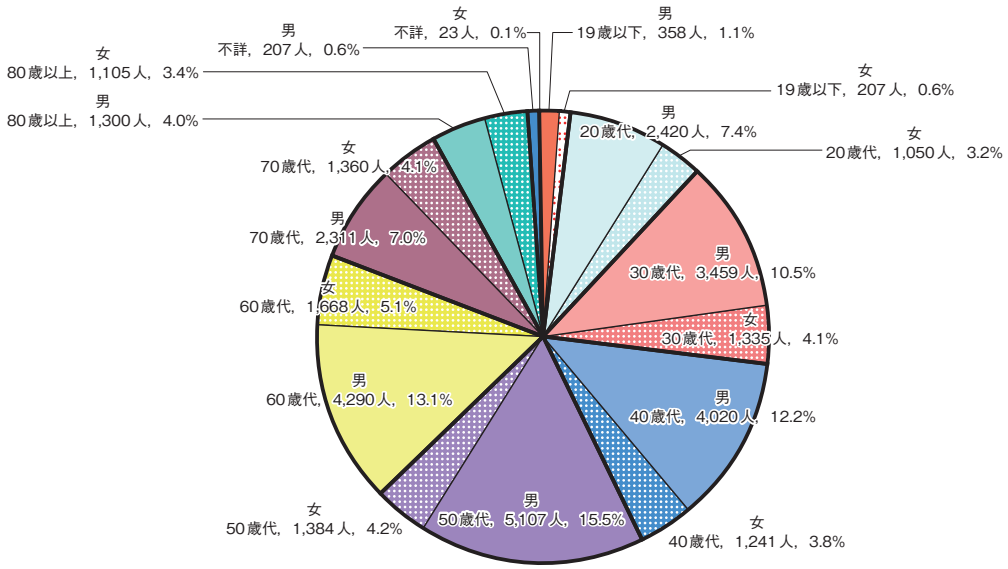
平成21年における男女別の年齢階級別の自殺者数の構成割合



資料：警察庁「自殺統計」より内閣府作成

○男女別の自殺の状況をみると、中高年で自殺者全体の6割、**40歳代～60歳代の男性で自殺者全体の約4割を占める**。

平成21年における男女別の年齢階級別の自殺者数



資料：警察庁「自殺統計」より内閣府作成

5　死因別の自殺の状況

○死因別の自殺の状況を男女別にみると、**男性については、20～44歳の５階級で「自殺」は死因順位の１位**となっており、特に、20～24歳の階級で50％を超えており、25～34歳の２階級でも40％を超えている。

平成20年における死因順位別にみた年齢階級・性別死亡数・死亡率・構成割合

総　数

年齢階級	第１位				第２位				第３位			
	死　因	死亡数	死亡率	割合(%)	死　因	死亡数	死亡率	割合(%)	死　因	死亡数	死亡率	割合(%)
10～14歳	不慮の事故	114	1.9	22.1	悪性新生物	109	1.8	21.1	自　殺	58	1.0	11.2
15～19歳	自　殺	507	8.3	31.3	不慮の事故	468	7.7	28.9	悪性新生物	169	2.8	10.4
20～24歳	自　殺	1,488	21.7	50.0	不慮の事故	588	8.6	19.8	悪性新生物	219	3.2	7.4
25～29歳	自　殺	1,703	23.1	47.0	不慮の事故	522	7.1	14.4	悪性新生物	382	5.2	10.5
30～34歳	自　殺	2,150	24.5	40.7	悪性新生物	830	9.4	15.7	不慮の事故	615	7.0	11.6
35～39歳	自　殺	2,358	25.0	30.7	悪性新生物	1,699	18.0	22.1	心　疾　患	788	8.4	10.2
40～44歳	悪性新生物	2,734	33.1	27.2	自　殺	2,295	27.8	22.9	心　疾　患	1,237	15.0	12.3
45～49歳	悪性新生物	4,999	65.3	34.1	自　殺	2,384	31.1	16.2	心　疾　患	1,688	22.0	11.5
50～54歳	悪性新生物	9,586	124.0	41.1	心　疾　患	2,833	36.6	12.1	自　殺	2,542	32.9	10.9
55～59歳	悪性新生物	21,315	218.3	46.2	心　疾　患	5,673	58.1	12.3	脳血管疾患	3,814	39.1	8.3
60～64歳	悪性新生物	29,265	328.7	48.2	心　疾　患	7,563	85.0	12.4	脳血管疾患	5,071	57.0	8.3

男

年齢階級	第１位				第２位				第３位			
	死　因	死亡数	死亡率	割合(%)	死　因	死亡数	死亡率	割合(%)	死　因	死亡数	死亡率	割合(%)
10～14歳	不慮の事故	84	2.8	25.5	悪性新生物	69	2.3	20.9	自　殺	41	1.3	12.4
15～19歳	不慮の事故	361	11.6	34.0	自　殺	306	9.8	28.8	悪性新生物	103	3.3	9.7
20～24歳	自　殺	1,037	29.3	50.4	不慮の事故	460	13.0	22.4	悪性新生物	130	3.7	6.3
25～29歳	自　殺	1,184	31.4	48.4	不慮の事故	399	10.6	16.3	悪性新生物	207	5.5	8.5
30～34歳	自　殺	1,466	32.8	42.4	不慮の事故	476	10.7	13.8	悪性新生物	395	8.8	11.4
35～39歳	自　殺	1,713	35.9	34.5	悪性新生物	717	15.0	14.4	不慮の事故	600	12.6	12.1
40～44歳	自　殺	1,745	41.9	26.5	悪性新生物	1,171	28.1	17.8	心　疾　患	978	23.5	14.9
45～49歳	悪性新生物	2,385	61.9	24.6	自　殺	1,895	49.2	19.6	心　疾　患	1,324	34.4	13.7
50～54歳	悪性新生物	5,265	136.3	33.7	心　疾　患	2,282	59.1	14.6	自　殺	1,990	51.5	12.7
55～59歳	悪性新生物	13,072	270.8	41.1	心　疾　患	4,500	93.2	14.1	自　殺	2,754	57.0	8.7
60～64歳	悪性新生物	19,409	446.7	45.7	心　疾　患	5,861	134.9	13.8	脳血管疾患	3,523	81.1	8.3

女

年齢階級	第１位				第２位				第３位			
	死　因	死亡数	死亡率	割合(%)	死　因	死亡数	死亡率	割合(%)	死　因	死亡数	死亡率	割合(%)
10～14歳	悪性新生物	40	1.4	21.5	不慮の事故	30	1.0	16.1	自　殺	17	0.6	9.1
15～19歳	自　殺	201	6.8	36.0	不慮の事故	107	3.6	19.2	悪性新生物	66	2.2	11.8
20～24歳	自　殺	451	13.5	49.0	不慮の事故	128	3.8	13.9	悪性新生物	89	2.7	9.7
25～29歳	自　殺	519	14.4	44.1	悪性新生物	175	4.8	14.9	不慮の事故	123	3.4	10.5
30～34歳	自　殺	684	15.8	37.4	悪性新生物	435	10.1	23.8	不慮の事故	139	3.2	7.6
35～39歳	悪性新生物	982	21.1	36.0	自　殺	645	13.9	23.7	心　疾　患	198	4.3	7.3
40～44歳	悪性新生物	1,563	38.3	45.2	自　殺	550	13.5	15.9	脳血管疾患	273	6.7	7.9
45～49歳	悪性新生物	2,614	68.7	52.4	自　殺	489	12.8	9.8	脳血管疾患	447	11.7	9.0
50～54歳	悪性新生物	4,321	111.7	56.2	脳血管疾患	708	18.3	9.2	自　殺	552	14.3	7.2
55～59歳	悪性新生物	8,243	167.0	57.5	心　疾　患	1,173	23.8	8.2	脳血管疾患	1,136	23.0	7.9
60～64歳	悪性新生物	9,856	216.3	53.9	心　疾　患	1,702	37.3	9.3	脳血管疾患	1,548	34.0	8.5

注意：構成割合は、それぞれの年齢階級別死亡数を100とした場合の割合である。

資料：厚生労働省「人口動態統計」